

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市澁川町三丁目5番地7
 (澁川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



四月徳川康生誕生地松平郷
 生河松平氏の発祥から戦国時代
 の攻防より近年の泰平の世を語り

初春今月気淑風和
 梅の和歌序文

頭文字「R」
 心寄せ合う中で文化育つ
 令和
 和の心
 新時代へ

あつた一族の
 激動の幕
 幕府の決
 断として平威
 から令和
 の時代へ
 新しい挑戦
 かけじまん
 た。天下茶屋
 から窓心懸し
 下梅の花を
 観て
 餅と食へ
 る。



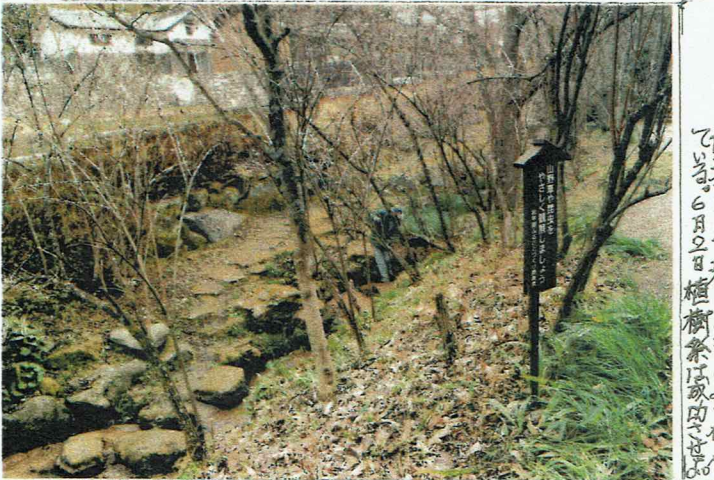
天下餅と抹茶 室町屋



天下茶屋の梅の花

仮名が注されたのは10世紀
 頃という。したがって、その200年
 ほど前に編まれた日本最
 古の和歌集「万葉集」は
 漢字ばかりで埋まった。
 一例として山上憶良の有名
 な歌の上の句を引けば、こ
 うである。(世間乎宇之等夜
 佐之等 於母倍持母)
 (世の中を憂しとやさしと思
 へども) 夜は時刻を示す
 ものではなく、母も、むと、
 漢語の音をあててている。通
 じない。
 そうした和語と漢語が混
 ざりあう大昔に、美しい漢
 文を書く人がいたもので
 ある。へ初春今月、気淑風和
 けしむ初春の好き月、気は

震しく風はやわら
 かである。多田三臣
 訳
 梅の歌の首を載せる
 にあたり、万葉集の
 中に添えられた序
 文の二節である。
 和語が背伸びを
 して文化の芽を出
 そうとして、なごき
 先輩の漢語が懐
 深を見守っているよ
 に思えなくもはい。
 そのから、この引
 き元号が、令和に
 決まった。
 国際性も宿している
 人々が心を寄せ合



へ好き、やわらかな世を作
 っていく。この理想は世界に
 通じよう。新天皇とけられ
 る。自天子さま、種子さまに、似合
 った。白月、植樹祭は、成り、成り

